

かんたき利用で多職種にて歩行練習に取り組み、歩行能力が向上した症例

利用者情報 60歳代 女性 病名：右大腿骨頸部骨折
既往歴：脳出血（右片麻痺）

希望

本人 … 歩けるようになりたい。(自宅の)トイレに一人で行けるようになりたい。
家族 … 一人でトイレに行けるようになってもらいたい。

介入初期：車椅子介助

FIM：96点（うち運動項目51点）

- ①リハビリ頻度は週に2～3回。手すりを使用し起立練習・移乗動作練習を中心に実施。かんたきに
通わない日は自宅でセルフトレーニングを行うよう指導。
- ②かんたき内の移動は車椅子介助にて実施。



手すり使用しての起立練習



起立動作のため、足の位置の調整（麻痺側の右足を後方へ引く）練習



本人宅でトイレ動作の評価・練習

介入中期：車椅子自走

FIM：101点（うち運動項目66点）

改善!

- ①セラピスト指導により、廊下の手すりを使用し起立練習と歩行練習を繰り返し実施。
- ②かんたき内の移動は車椅子介助と短距離のみ**車椅子自走（自ら足を使って操作）**。
- ③手すり使用での歩行が可能となり、看護師による歩行練習も実施。

介入後期：四点杖歩行と車椅子併用

FIM：107点（うち運動項目72点）

改善!

- ①四点杖を使用し、見守り介助で連続20m以上歩行が可能。
- ②かんたき内の移動は、車椅子と**四点杖歩行（付き添い介助）**の併用。
- ③**看護師**による、**四点杖を使用した歩行練習**も実施。



基本動作（一部抜粋）

歩行距離	介入初期	介入後期	改善!
起立動作	中等度介助	見守り～自立	→
移乗動作	中等度介助	見守り～自立	
歩行動作	片側介助で5m可能	見守り介助で20m以上可能	

FIM：日常生活動作

介入初期	介入後期	改善!
FIM 96点 (うち運動項目 51点)	FIM 107点 (うち運動項目 72点)	→
運動項目が 21 点アップ!!		

- 徐々に移乗動作・移動動作の能力が上がった。
- トイレで下衣の上げ下げが見守り介助でできるようになり、一連のトイレ動作が可能になる。



【まとめ】

- ・ かんたき利用中に理学療法士及び看護師による歩行練習を継続したことにより、足などの筋肉が鍛えられた。また、自ら意識的に麻痺側の右足を動かせるようになり、更に起立動作・歩行動作が安定した。
- ・ できる動作が増えることで、本人から「嬉しいです」と発言。笑顔になることも増えた。
- ・ 2022年1月1日に転倒以降、かんたきを利用になってから転倒など危険なく過ごせている。
- ・ 自宅のトイレには四点杖を使用し、家族の付き添い介助で行けるようになった。
- ・ 入浴も自宅で可能となれば、かんたきを卒業することも可能と考える。
※自宅で家族の介助を受けシャワー浴も行っている。浴槽の跨ぎ動作には中等度介助が必要。
- ・ 今後、屋内移動・トイレ動作は自立レベルで遂行可能と考える。

